

『目標地図素案づくり』

～農業委員と農地利用最適化推進委員の連携による地域の目標地図素案完成～

京都府 京丹波町農業委員会



1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員：	19 人
○ 農地利用最適化推進委員：	22 人
○ 事務局職員：	2 人
○ 市町村行政との連携状況：	毎月1回
町農林振興課（担当者）と事務局、現地推進役（農業会議）で調整会議を開催。課題や現状の共有と協議	

2 町の概要と課題

（概要）京都府のほぼ中央に位置し、総面積は、303.09km²。約83%を森林が占め、この間を縫って耕地が広がり、集落が点在。人口約12,000人、世帯数は約6,000世帯、高齢化率は44.5%。大都市圏へ1時間台で移動できるなど、交通環境に恵まれた地域。

（課題）高齢化と人口減少等による離農により農業就業人口が大幅に減少。中山間地の条件不利地に加え、有害獣対策と後継者・担い手不足が課題。

3 委員による取組内容

- 【1】目標地図素案完成に向けた「地域計画説明会」開催…町と委員会が連携
- ★旧町地区ごと3か所で開催（丹波・瑞穂・和知）…7/29.7/31.8/2
 - ★参集範囲→区長（自治会）、農事組合長、中山間や多面の役員関係者など
集落で選出された最大4名と農業委員、農地利用最適化推進委員
 - ★内 容 1）地域計画の概要と現状の確認 2）目標地図の作成について
3）質疑応答 4）計画地域〈ブロック〉ごとの話し合い
 - ★配布物 農地一覧表（農振農用地・中山間・多面情報記載済）、白地図、色鉛筆
令和5年度作成現況地図+地域計画ごとに重複する耕作者一覧表

- 【2】集落ごとの話し合い…委員が地域役員等と連携
- ★10計画の10地域がそれぞれの特性に合わせた話し合いと
地図作成を遂行…委員主導
 - ★「最適化推進会議」で定期的に全委員から進捗状況を報告、
情報共有
 - ★12月末現在→6/10計画完成
取りまとめ未完成4計画→農業委員・農地利用最適化推進
委員が連携して最終調整

【3】地図完成と地域計画策定に向けて

- …町と委員会との連携
- ★「Ⅰ月最適化推進会議」
…農林振興課と素案完成後の地域計画策定に向けた確認



完成した目標地図



4 成果

①「委員活動の見える化」の実現

委員の仕事に対する周知と理解の浸透を内外に発信。

- 委員間相互の情報共有・連携強化
- 事務局との情報共有・連携強化
- 農業者年金新規加入促進…目標値の3倍数を達成（6/2名）
- 目標地図素案づくりの全地域期限内完成
- 目標地図実現に向けた利用集積の推進…ヤミ小作解消への第1歩

②活動記録簿の全委員毎月提出達成を継続（41名月平均10枚）

委員活動の意識高揚と積極的な活動への展開が実現。

- 交付金の活用が可能＝最適化交付金（増額）